

## 食品安全委員会と豪州・ニュージーランド 食品基準機関 (FSANZ) との定期会合開催

2013年7月、FSANZのマッカチョン長官を迎え、食品安全委員会との定期会合を行いました。

食品安全委員会は2010年7月に豪州・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ) と協力文書 (Memorandum of Cooperation) を交換し、連携強化に努めています。

このたび、食品安全委員会設立10周年を記念した国際共同シンポジウムに先立ち、



FSANZ マッカチョン長官と  
食品安全委員会熊谷委員長 (食品安全委員会にて)

2013年7月2日にFSANZのマッカチョン長官を迎え、第1回定期会合を開催し、情報交換を行いました。また、翌7月3日の国際共同シンポジウムでは、マッカチョン長官が食品健康影響評価の国際的な動向として、「オーストラリアとニュージーランドの視点」と題して講演され、シンポジウムにもパネリストとして参加していただきました。

食品安全委員会としては、今後とも本協力文書に基づき更なる連携強化を図り、リスク評価の手法、個別の課題についての情報交換・意見交換等を行ってまいります。

### 豪州・ニュージーランド 食品基準機関とは (FSANZ : Food Standards Australia New Zealand)

食品の安全の維持を図ることにより、オーストラリア及びニュージーランドの国民の健康と安全を保護することを目的として2国間で設立した機関です。様々な食品のリスク評価を担当し、2国間で統一した食品の規格や表示基準の策定を行うとともに、生産から消費に至る衛生対策も行う組織です。

## ジュニア食品安全委員会

小学校5・6年生が集結! 2013年8月8日、「ジュニア食品安全委員会」を開催しました。

今年で7年目を迎えた「ジュニア食品安全委員会」。25名の小学校5・6年生と、その保護者の方々が参加してくださいました。

ジュニア食品安全委員任命式の後、クイズを実施。グラフを使った少し難しい問題もありましたが、全問正解者4名と、皆さん大健闘でした。続いて、夏休みの宿題を少しお手伝いということで、今年度の新企画「レポートの書き方」の解説があり、後日、レポート

を送付してくれたジュニア委員の皆さんに、委員等からのアドバイスもお送りしました。


また、食品安全委員会委員への質問タイムでは、聞きたいことを事前に提出してくれたジュニア委員だけでなく、当日もたくさんの方が挙がり、皆さんとても積極的でした。「委員の人はどんな検査をしているの?」「遺伝子組換えを見分ける方法は?」「サルモネラ菌は卵何個分で人が死ぬの?」「食品添加物は、日

本の食品の何%に入っているの?」「放射性物質が含まれている日本の食品をこの先ずっと食べても問題はない?」など多岐にわたる質問に、委員も驚き、感心していました。

最後に、クイズ正解者へのメダル授与と全員の記念撮影や委員長イスでの撮影等を行い、盛会のうちに終了。ご参加の皆さん、ありがとうございました。



全員での記念撮影

 食品安全委員会ホーム>キッズボックス>ジュニア食品安全委員会合合結果はこちら>平成25年度開催実績  
<http://www.fsc.go.jp/koukan/junior2508/junior-tokyo2508.html>